

科目名	衛生化学特論	選択	1単位
-----	--------	----	-----

◎責任教員

担当教員	◎教授 荒田 洋一郎 講師 岡 沙織、助教 田村 真由美						
開講年度	2019年度	配当年次	1～4年	配当学期	後期	授業方法	講義

授業の概要	衛生化学はヒトの健康維持に関する学問領域で、対象は栄養、食品衛生、保健衛生、生活習慣病やアレルギー疾患などの疾病とその予防、乱用薬物とその対策、生活環境など多岐にわたる。本特論では、この中から様々な疾病において重要な役割を演じていることが知られている糖鎖とレクチン（特定の糖鎖構造を認識するタンパク質）、最近増加が著しく社会問題にもなっている薬物（特に大麻と危険ドラッグ）乱用の2つを取り上げる。
授業の到達目標	疾患および薬物中毒等における糖質や脂質の役割を分子レベルで説明できる。

授業計画	回数	担当者	行動目標
	1	荒田 洋一郎 教授	代表的な糖鎖の構造について説明できる
	2	荒田 洋一郎 教授	糖鎖の生体内における役割について説明できる
	3	荒田 洋一郎 教授	レクチンによる糖鎖認識の生体内における意義について説明できる（1）
	4	荒田 洋一郎 教授	レクチンによる糖鎖認識の生体内における意義について説明できる（2）
	5	岡 沙織 講師	乱用物質と脂質について説明できる（1）
	6	岡 沙織 講師	乱用物質と脂質について説明できる（2）
	7	田村 真由美 助教	糖鎖が関わる疾病について説明できる（1）
	8	田村 真由美 助教	糖鎖が関わる疾病について説明できる（2）

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	事前学修について 次回の講義で扱う内容について、講義中のプリント、スライド等で指示しますのであらかじめ調べておいてください。各講義ごとに最低1時間半は行い、合計で12時間以上となります。 事後学修について 講義で触れた内容について、さらに深く調べるべきこと、考察すべきことを講義中のプリント、スライド等で指示します。各講義ごとに最低2時間半は行い、合計で20時間以上となります。
教科書	特になし
参考書	特になし
成績評価の方法および基準	課題30%、レポート70% で評価する
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。